

『一心千里』

永田 隆一

走って見れば、
見えてくる



第119回

京都銀閣寺町の蕎麦屋は冷房が効いている。京都は日本酒の生産量で全国2位である。特に伏見地区が有名だ。人気の「ごり酒をいただく」、アチは定番の蕎麦味噌焼酎と板わき。

草木染めのやわらかい色合い、米と糸に時間を増やした紗(しゃ)の着物は、上品でも涼しげだ。夏の着物をまとった雅が、いつものようにおたやかに話す。

「紙屋町で火事が続きます。先月の半治の事件は狂気の沙汰。この伏見のお酒で気分を少しだけ粉々させるといたしまし

よう」。胸をすくめて微

笑む雅を、10代の頃と変わらぬと、亮太は目を

「舞妓時代にたくさん

クローズアップで見れば悲劇

ロングショットで見れば喜劇

し通すのよ。そろしたら、その方にとつたら粉れもない真実になる。それができないなら騙してはいけない」と。

「チャップリンは良い言葉を残している。人生に理由を求めても意味がない。ロマンスと冒険を求めて、自分の欲望を第

「チャップリンは良い言葉を残している。人生に理由を求めても意味がない。ロマンスと冒険を求めて、自分の欲望を第

あける。そして、人を元気づける方法が2つあることを学びました」「2つ」。

「そうです。失敗して落ち込んでる人に、大丈夫だ。たいした失敗ではない。今回はとてもよい経験ができた。運がなかっただけ。次にチャレンジしましょう」「そして」

「想像を超えろ災害にあつた人たちは、たか手を離れて一緒に泣いてあげろ」……」。

「舞妓時代、私の手を握って一緒に泣いてくれた友達に何度も教わられた」「チャップリン、人の一生は、クローズアップで見れば悲劇があるけれど、ロングショットで見れば意外と喜劇である」「チャップリンは本当に素敵です」。

「最近、日本と韓国の関係がギクシャクしています。新聞にも半導体の材料の輸出管理強化とか」「ロングショットで見れば、それも喜劇だな」「笑」「米中貿易戦争は」「同じく喜劇」。

私は世界一の登山家。世界で2番目に高い山はK2だから、K2の申し子」「喜劇だな」「でも、K2の申し子で1週間くらい生活してみようかな。何だか背筋が伸びてきたわ」。

「消費税増税は」「これは悲劇」「政府が新しい税を考えているらしい」「少年税」。30歳を超えても子供がない人から税金を取るといふ考えらしい」「少年税、くだらな過ぎて、もうクローズアップでみても喜劇です」「日本の政治は、クローズアップでみると喜劇で、ロングショットで見ると悲劇かもしれない」「亮さん、うまい」。

「喜劇その2」「亮さんは世界一の井戸掘り職人。どう？ いいじゃないか。おれに頼めば必ず水脈にあたる。伝説の井戸掘り職人」「そして御代はいただかない」「喜劇じゃないか」「会社の人や家族にとつては、間違いない悲劇」「笑」。

「舞妓時代、私の手を握って一緒に泣いてくれた友達に何度も教わられた」「チャップリン、人の一生は、クローズアップで見れば悲劇があるけれど、ロングショットで見れば意外と喜劇である」「チャップリンは本当に素敵です」。

「チャップリンの「世界一の大将役のつもりでいた」。これも素敵。私たちも自己プロデュースしてみよう。そうね、

「チャップリンの「世界一の大将役のつもりでいた」。これも素敵。私たちも自己プロデュースしてみよう。そうね、

(毎月連載)